

富山県立滑川高等学校

	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	普通科	2年	地理歴史	日本史B	3	詳説日本史(山川出版社)				
	科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めることによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。								
	評価の観点	関心・意欲・態度 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に生きるとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	思考・判断・表現 歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	技能 歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	知識・理解 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。					
月・考査等	単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法				
4	日本文化のあけぼの	1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	・旧石器文化・縄文文化の成立を、自然環境や生活様式の変化、大陸の影響に着目しながら理解することができる。 ・集落・風習・食生活の変化などを踏まえて、旧石器文化・縄文文化の社会について考察することができる。 ・水稻耕作や金属器の伝播など、大陸文化の影響に着目して弥生文化の時代の社会の変化について考察することができる。		図説 日本史通覧(帝国書院) 五訂必修 日本史用語(美教出版)	生徒観察 ノート 発表	○	○	○	
5	律令国家の形成	3・古墳とヤマト政権 1. 飛鳥の朝廷	・ヤマト政権の成立過程で、権力の象徴として出現した古墳文化を、東アジアとの文化的交流と関連付けて理解することができる。 ・推古朝による政権運営や飛鳥文化の形成について、仏教の受容や遣隋使など大陸との交流をふまえて考察することができる。			生徒観察 確認テスト	○	○	○	
中間考査		2. 律令国家への道 3. 平城京の時代	・大宝・養老律令に基づき、政治組織・土地と民衆の把握・税制などが整備されたことを、遣唐使や地方社会との関わりを踏まえて理解することができる。 ・藤原氏を中核とする政治抗争の進展や、公地公民制の崩壊など、土地制度の変容を関連づけて考察することができる。			生徒観察 ノート	○	○	○	
6		4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	・中央集権的国家体制が成立したなかで、随・唐など東アジア世界との文化を受容しながら、平城京を中心に高度な貴族文化が成立した過程を理解することができる。 ・蝦夷や東アジアとの関係を踏まえて、藤原北家の台頭や、地方における土地支配体制の動揺について考察することができる。 ・唐文化を受容して、密教芸術である弘仁・貞観文化が成立したことの意義を理解することができる。			生徒観察 発表	○	○	○	
期末考査										
7	貴族政治と国風文化	1. 摂関政治 2. 国風文化	・藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令体制の変容の観点から摂関政治を考察することができる。 ・国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による信仰の受容、かな文字の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解することができる。			生徒観察 発表 生徒観察 発表 ノート	○	○	○	
8										
課題テ										
9	武家社会の形成	3. 地方政治の展開と武士 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会	・国司の支配や公領の変質、荘園の発達といった地方の変質の中で武士が台頭していったことを考察することができる。 ・院政の政治構造や経済・社会・文化を理解することができる。 ・平氏政権の特性の考察をとおして、武家政権の成立過程を理解することができる。 ・鎌倉幕府について、全国支配の確立から、政権の変容までを、朝廷と幕府の二元的支配構造等に着目しながら、理解することができる。 ・鎌倉幕府について、全国支配の確立から、政権の変容までを、朝廷と幕府の二元的支配構造等に着目しながら、理解することができる。			生徒観察 発表	○	○	○	
10		4. 蒙古襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化	・蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていったことを理解することができる。 ・鎌倉仏教の社会的・思想的意義やその影響について考察することができる。			生徒観察 発表	○	○	○	
中間考査	武家社会の成長	1. 室町幕府の成立	・南北朝の動乱から室町幕府の成立・安定期を迎えた時期について、諸地域の動向を踏まえて考察することができる。			生徒観察 発表	○	○	○	
11		2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化	・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえ、幕府の動揺・衰退や社会の風潮を考察することができる。 ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解することができる。			生徒観察 発表	○	○	○	
期末考査										
12		4. 戦国大名の登場	・富国強兵策を推進して、分国統治を強化した戦国大名、堺などの都市の発展を踏まえて、戦国期の日本の多様性を考察することができる。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	
1							○	○	○	
課題テ	幕藩体制の確立	2. 織豊政権	・幕藩体制とのつながりに着目して、検知や刀狩りにみられる兵農分離策を踏まえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察することができる。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	
		3. 桃山文化	近世国家が成立していく中で成熟していった武家文化を、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係に着目しながら考察する。			生徒観察 発表	○	○	○	
		4. 幕藩体制の成立	・幕藩体制の特質について、幕府と藩・朝廷・寺社との関係を踏まえて考察することができる。			生徒観察 ノート	○	○	○	
2	幕藩体制の展開	5. 幕藩体制の構造 1. 幕政の安定 2. 経済の発展	・幕府による政治体制の確立が、その後の社会経済に与えた影響と歴史的意義について考察することができる。 ・文治政治への転換から元禄時代・正徳の知を取り上げ、幕政が安定していく過程について考察することができる。 ・幕藩体制安定期の農業・商工業の発展について、交通や貨幣・金融制度の整備、都市の発展に着目して考察することができる。			生徒観察 ノート	○	○	○	
学年末考査										
3		3. 元禄文化	・幕藩体制の安定下で、町人の経済的繁栄や商業活動の拡大を基盤として元禄文化が形成されていったことを理解することができる。			生徒観察 発表	○	○	○	

月・考査等	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	普通科	3	地理・歴史	日本史B(文系)	4	詳説日本史(山川出版社)					
	科目の目標	わが国の、近世から近代へ発展の過程と、そこで活躍した人物やその理想を学ぶことで、日本人としての誇りと自覚を持たせる。日本の文化について、文学作品、思想や美術工芸品、建築などを学び、日本人特有のものの見方考え方について理解を深める。									
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解							
月・考査等	単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法					
4	幕藩体制の動揺	1. 幕政の改革	・農村を基盤とする幕藩体制が、商品経済の発展に伴う農民層の分解などの構造変化に対応すべく一連の改革を行ったことを考察する。		図説 日本史通覧(帝国書院) 必携 日本史用語(実教出版)	生徒観察 発表	○	○	○	○	
		2. 宝暦・天明期の文化	・、富を蓄えた百姓や町人層が文化の担い手となることにより、洋学や国学など新たな学問・思想の発展につながっていったことを考察する。								
5	近代国家の成立	3. 幕府の衰退と近代への道	・幕藩体制が、社会経済の大きな変化によって動揺していく過程を、財政の窮乏や百姓一揆・打ちこわし・幕府の外交政策に対する批判と関連付けて考察する。			生徒観察 確認テスト 生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
		4. 化政文化	・寺子屋など庶民教育機関の普及が、出版文化の発達をもたらし、成熟した町人文化につながっていったことを考察する。								
中間考査		1. 開国と幕末の動乱	・欧米諸国のアジア進出という国際環境の中で、近代国家へと変化を遂げたことを多面的・多角的に考察する。								
		2. 明治維新と富国強兵	・国際社会の枠組みに組み込まれたわが国が、近代国家の基盤を形成していった過程と、明治維新の意義について考察する。								
6		3. 立憲国家の成立と日清戦争	・新政府によって行われた諸改革により、近代国家を形成していったことと、日清戦争に至る過程とその結果について関連付けて考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		4. 日露戦争と国際関係	・日露戦争に至る過程とその結果を、国際関係と関連させながら考察する。								
期末考査	7	5. 近代産業の発展	・殖産興業政策を基礎に産業基盤を整備し、近代工業が成立したことや資本主義が確立したことを社会の変化と関連付けて考察する。			生徒観察 確認テスト 生徒観察 確認テスト 生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
		6. 近代文化の発達	・伝統文化の上に欧米文化を導入して、近代文化が形成されたことを考察する。								
課題テ	8	二つの世界大戦とアジア	・民族主義の台頭や社会主義国の成立など、第一次世界大戦前後の国際社会が大きく変容し、国内政治にもその影響が、強くみられるようになったことを考察する。			生徒観察 ノート	○	○	○	○	
		9	2. ワシントン体制	・大戦の戦禍や国際情勢の変化によって、国際協調体制が構築されたことで、日本の立場や対外政策の変化について考察する。							
10	占領下の日本	3. 市民生活の変容と大衆文化	・資本主義経済の発展により、産業構造の変化や都市人口や労働者階級の増大による社会構造の変化が、市民の生活や文化に大きな変化をもたらし、これを考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		4. 恐慌の時代	・世界恐慌による保護貿易の広がりによって列強間に経済的対立が生じ、全体主義の台頭によって国際関係に変化が生じたことを考察する。								
中間考査		5. 軍部の台頭	・経済的困窮による、政党政治の終焉、軍部の台頭が対外政策の転換、全体主義的な体制の構築につながったことを考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		6. 第二次世界大戦	・米英等との外交関係の行き詰まりが戦争へとつながったこと、また総力戦体制のもと、戦争による多くの参加がもたらされたことを考察する。								
11	激動する世界と日本	1. 占領と改革	・民主化を進める戦後の諸改革と憲法制定、平和条約の締結と日本の独立への過程を対日占領政策の変化と関連付けて考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		2. 冷戦の開始と講和									
期末考査	12	高度経済成長の時代	・冷戦によって、国内でも保守対立の激化がみられた日本が、やがて西側の一員として国際社会における地位を向上させていった過程を考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		2. 経済復興から高度成長へ	・戦後の窮乏・荒廃の中での生産再開や諸政策、朝鮮戦争を背景とした復興の過程を対日占領政策と関連付けて考察する。								
共通テスト	1	1. 経済大国への道	・70年代初頭の国際経済の変化や石油危機を経た我が国が、やがて世界有数の経済大国となった過程を、国民生活と関連付けて考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		2. 冷戦の終結と日本社会の変容	・冷戦終結による国際社会の変化の中で、先進国としての国際的地位の確立、国民生活の充実や多様化、国際交流の活発化などをとおして、我が国の国際的役割を考察する。								
学年末考査		まとめと復習	・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。			生徒観察 ノート	○	○	○	○	
		まとめと復習	・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。								
1		まとめと復習	・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。			生徒観察 ノート	○	○	○	○	
		まとめと復習	・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。								

富山県立滑川高等学校

月・考査等	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	普通科	3	地理・歴史	日本史B(理系)	2	高校日本史(山川出版社)					
科目の目標							わが国の、近世から近代へ発展の過程と、そこで活躍した人物やその理想を学ぶことで、日本人としての誇りと自覚を持たせる。日本の文化について、文学作品、思想や美術工芸品、建築などを学び、日本人特有のものの見方考え方について理解を深める。				
評価の観点							関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
							歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	
月・考査等	単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法					
4	幕藩体制の動揺	1. 幕政の改革	・農村を基盤とする幕藩体制が、商品経済の発展に伴う農民層の分解などの構造的変化に対応すべく一連の改革を行ったことを考察する。		図説 日本史通覧(帝国書院) 必携 日本史用語(実教出版)	生徒観察 発表	○	○	○	○	
		2. 宝暦・天明期の文化	・富を蓄えた百姓や町人層が文化の担い手となることによって、洋学や国学など新たな学問・思想の発展につながっていったことを考察する。								
5		3. 幕府の衰退と近代への道	・幕藩体制が、社会経済の大きな変化によって動揺していく過程を、財政の窮乏や百姓一揆・打ちこわし・幕府の外交政策に対する批判と関連付けて考察する。			生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
		4. 化政文化	・寺子屋など庶民教育機関の普及が、出版文化の発達をもたらした、成熟した町人文化につながっていったことを考察する。								
中間考査											
		2. 明治維新と富国強兵	・国際社会の枠組みに組み込まれたわが国が、近代国家の基盤を形成していった過程と、明治維新の意義について考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		3. 立憲国家の成立と日清戦争	・新政府によって行われた諸改革により、近代国家を形成していったことと、日清戦争に至る過程とその結果について関連付けて考察する。								
6		4. 日露戦争と国際関係	・日露戦争に至る過程とその結果を、国際関係と関連させながら考察する。			生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
期末考査											
7		5. 近代産業の発展	・殖産興業政策を基礎に産業基盤を整備し、近代工業が成立したことや資本主義が確立したことを社会の変化と関連付けて考察する。			生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
8											
課題テ											
9	二つの世界大戦とアジア	6. 近代文化の発達	・伝統文化の土壌の上に欧米文化を導入して、近代文化が形成されたことを考察する。			生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
		1. 第一次世界大戦と日本	・民族主義の台頭や社会主義国の成立など、第一次世界大戦前後の国際社会が大きく変容し、国内政治にもその影響が、強くみられるようになったことを考察する。								
		2. ワシントン体制	・大戦の戦禍や国際情勢の変化によって、国際協調体制が構築されたことで、日本の立場や対外政策の変化について考察する。								
10		3. 市民生活の変容と大衆文化	・資本主義経済の発展により、産業構造の変化や都市人口や労働者階級の増大による社会構造の変化が、市民の生活や文化に大きな変化をもたらしたことを考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		4. 恐慌の時代	・世界恐慌による保護貿易の広がりによって列強間に経済的対立が生じ、全体主義の台頭によって国際関係に変化が生じたことを考察する。								
		5. 軍部の台頭	・経済的困窮による、政党政治の終焉、軍部の台頭が対外政策の転換、全体主義的な体制の構築につながったことを考察する。								
11	激動する世界と日本	6. 第二次世界大戦	・米英等との外交関係の行き詰まりが戦争へとつながったこと、また総力戦体制のもと、戦争による多くの参加がもたらされたことを考察する。			生徒観察 確認テスト 生徒観察 確認テスト 生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
		1. 占領と改革	・民主化を進める戦後の諸改革と憲法制定、平和条約の締結と日本の独立への過程を対日占領政策の変化と関連付けて考察する。								
		2. 冷戦の開始と講和									
12	高度経済成長の時代	1. 55年体制	・冷戦によって、国内でも保守対立の激化がみられた日本が、やがて西側の一員として国際社会における地位を向上させていった過程を考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
		2. 経済復興から高度成長へ	・戦後の窮乏・荒廃の中での生産再開や諸政策、朝鮮戦争を背景とした復興の過程を対日占領政策と関連付けて考察する。								
期末考査											
1	まとめと復習	1. 経済大国への道	・70年代初頭の国際経済の変化や石油危機を経た我が国が、やがて世界有数の経済大国となった過程を、国民生活と関連付けて考察する。			生徒観察 確認テスト	○	○	○	○	
		2. 冷戦の終結と日本社会の変容	・冷戦終結による国際社会の変化の中で、先進国としての国際的地位の確立、国民生活の充実や多様化、国際交流の活発化などをとおして、我が国の国際的役割を考察する。								
共通テスト											
1	まとめと復習		・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。			生徒観察 ノート	○	○	○	○	
			・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。								
学年末考査											